

第 23 回全国フォークリフト運転競技大会講評（陸災防 小林 技術管理部長）

競技の合計点の平均は、900.6 点で、昨年、一昨年を上回る良い成績であった。特に優勝者は 1,000 点満点中 995 点というほぼ完璧な素晴らしい成績であった。

学科試験は、満点が昨年を大きく上回り 9 人いたが、問題別では法令関係での間違いが多かった。最も間違いが多かったのは、車両系荷役運搬機械の種類に関するもので、約半数が間違っていた。

点検競技では、満点が 23 人で昨年をやや上回った。不具合箇所で指摘ミスが多かったのは、昨年と同様タイヤの空気圧関係であった。

運転競技では、満点は昨年と同様の 1 名であった。減点が多かったのは、パレット端面と架台端面の不一致によるものであった。

昨年の雨中での競技と異なり、恵まれた天気の中での競技となった。選手と応援団の熱意の中で、大変に高いレベルでの競技となった。

本大会の目的である、運転技能の向上と安全意識の高揚を十分に果たすことができた大会であった。選手の皆さんの大会に向けてのご努力を高く評価するとともに、今後の安全における活躍を期待します。